

【解答】

《大問一》

問一…エ

問二…食べ物が腐ることがなくなり、衛生面でも、また、安全面でも生活の質が、向上することにより、か弱い赤ちゃんでも不慮の死が減ったと考えられるから。

問三…黒部川の魚

問四…日本が世界一の長寿国になったということ。

問五…衛生的で文化的、安全な環境。

問六

⑤…ニワトリが時計代わりに鳴く声で朝を知らせるということ。

⑥…柿の実を盗みどりしていただくこと。

問七…ア・オ

問八…Cカ Dエ

問九…(驚い)たり(嬉しがっ)たり

問十…ウ

問十一…吹き(すさび)

問十二…環境を考える際に、生活の方法や技術を、先進国である欧米に学んだように学ぶことはできない。なぜなら欧米も環境問題をはらんでいるし、何よりその国独自の風土や条件に合わせて考えなければならぬからである。

問十三…誰かとのつながりや支え合いがないと生きていけない時代とは異なり、現代は個人が一人で生活するのに最適な環境及び権利が得やすい分、他者につながる必然性がなくなり、共生の場から離されることになるから。

問十四…イ

問十五…自分一人の命が助かるように行う行動。

問十六…全体の迷惑になるという理由で、自分の犠牲にして仲間を守ること。

問十七…

(1)…生物と鉱物という自然

(2)…人間が引き起こした環境悪化で自身も自然も死にかかっているなか、残されたチャンスを生かすため今ならまだ間に合う共生環境復活を呼びかけている。

問十八…インターネットの普及により、ますます他者や自然とつながる必然性がなくなり、

十八年後の現在、一人で生きていく「孤独環境」になってしまった。今一度、日本人が自然や地域に根差していた生活を照らし、どうあるべきかを議論していかないと、日本人の幸福感まで殺ぐ結果になるのではないかと心配している。

《大問二》

- (1) ア
- (2) ウ
- (3) エ
- (4) ア
- (5) イ